

青年による東京提言
(日本語仮訳)

～ 2015年日本・サウジ外交関係樹立60周年に向けて ～

日本とサウジアラビアの若者グループからなる我々は、2013年12月24日と25日、東京にて開催された日本・サウジアラビア政策対話セミナーに参加した。我々は、この対話が両国の若者の共通理解を深める効果的な手段であるだけでなく、1999年から2012年まで実施された日本・サウジアラビア青年交流計画の成果をフォローアップする重要なステップとして考える。

「日本・サウジアラビア間の包括的パートナーシップの強化 ～更なる相互の発展及び繁栄に向けた更なる協力～」というテーマの下、我々は、(ア)両国の若者を取り巻く諸問題への取組、(イ)サウジアラビアの人的資源開発に向けた日本の支援、(ウ)日本・サウジアラビア間の経済関係の強化、(エ)中東の平和と安定の確保に向けた二国間の協力という4つの側面から、二国間協力を更に促進するための方法につき議論した。

率直な議論を通じて、我々は、二国間の協力を様々な分野で更に拡大するために多くの可能性が残っているという認識を共有した。我々は、我々の政府に対し、両政府が日本とサウジ外交関係樹立60周年にあたる2015年を今後迎える中で、主要達成目標として取り組むことを期待し、以下の提言を行うこととした。

【青年交流】

- 青年交流及びスポーツ分野での更なる協力の実現。
- 両国の若者が活動を行う上での実施主体となるべく、科学技術、文化及びビジネス等の分野の「青年委員会」を設置すること。
- 日本のボランティア精神、及び日本や世界での経験から得られたボランティア分野での教訓を紹介するプログラムを創設すること。

【文化・教育】

- 両国でお互いの言語の学習者数を増加させ、それらを奨励するために必要な措置を講ずること。
- 両国に日本とサウジアラビアの研究機関を設置する等、日本人研究者によるサウジアラビア研究及びサウジアラビア人研究者による日本研究を推進す

ること。

- サウジアラビアに対して日本の教育価値観や方法に紹介し、さらに日本の若者の間でイスラム文化とその価値についての理解を促進するための措置を講じること。
- 学校内外での規律・調和に関する日本の教育の価値観及びメソッドのサウジアラビアへの更なる紹介、及び日本の若者の間でのイスラム文化及び価値観についての理解促進についての手段を講じること。
- 両国の大学や研究機関の教育協力を強化し、特に大学生をはじめとする若者の人的交流を促進すること。

【経済協力】

- 両国の経済関係を強化するため、日本企業がサウジアラビアで支店、代理店等を開設することを働きかけること。
- 再生可能エネルギーと原子力エネルギーを含むエネルギーの分野での二国間協力を更に推進すること。
- 両国間の双方向の投資を増加させること。
- 日本・サウジアラビア産業協力タスクフォースなどの手段を通じての産業協力を更に発展させること。
- サウジアラビア進出を希望する日本企業にコンサル業を行うサウジアラビア企業の支店開設の可能性を検討すること。
- サウジアラビア人帰国留学生が日本乃至サウジアラビアの日本企業にて就職を希望する場合、配慮を行うこと。
- 産業面だけではなく、観光等の新しい分野での人材育成分野での広範な協力を行うこと。
- サウジアラビアの若者に対し、国際協力機構（JICA）による「コストシェア技協」等の手段を通じて、日本の技術協力支援を継続すること。

【政治・安全保障】

- 湾岸諸国と東アジアの双方の状況の相互理解を促進するために、政治・安全保障対話を更に深め、防衛協力を継続すること。
- 中東と東アジアにおける紛争予防のため、日本・サウジアラビア間の安全保障協力を強化すること。
- 安全保障面での対話を増やし、両国間での価値観の共有を進めること。

一方、我々自身もまた、両国間協力を前進させる上でのプレーヤーであるとの認識の下、我々も以下の貢献を行うことが自らの役割であると強調する。

- 日本、特に企業関係者にサウジアラビアについて、併せてサウジアラビアの人々につき日本を紹介し、共通理解の促進を行うこと。
- 様々な分野での対話を継続し、お互いの国を訪問すること。
- 今回のセミナー参加者間でメーリング・リストを作成し、様々な分野につき議論を行うこと。
- 日本とサウジアラビアの文化行事に参加し、相互理解を促進する。

最後に、この政策対話セミナーの意義を認識し、次回の政策対セミナーは、大学生、若い知識人、政府や民間企業の職員を含む両国の有望な若者の参加を得て、2014年度中にリヤドで開催されることを願う。

2012年12月25日／ヒジュラ暦1435年サファル月（2月）22日
東京／日本